

個人で開設した地域のコミュニティカフェ

1. 団地・住宅地の概要

左近山団地（神奈川県横浜市）

【種別】：賃貸・分譲/集合住宅団地

【住戸数】：約 4,800 戸 【入居開始年度】：1973 年～

【交通】：相模鉄道線「二俣川駅」 バス約 20 分

※ 本事例は、左近山団地の一部の街区及び隣接する団地（合わせて約 1,700 戸）を対象に一般社団法人が実施している取組

2. 取組の概要

- ・地元自治会や地域の福祉施設などと連携したコミュニティカフェを一般社団法人が経営しており、現在では横浜市の介護予防・生活支援総合事業の認定事業所になるなど、地域の交流拠点となっている。

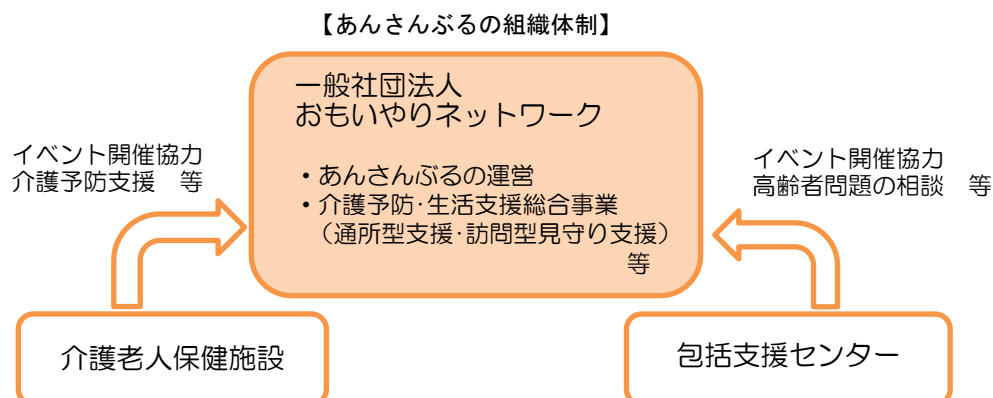
3. 取組の背景

- ・団地住民の高齢化が進み、商店街が夏祭りなどのイベントを実施できなくなるなど、団地の賑わいを失っていた。
- ・横浜市のコミュニティビジネスの講習会で興味を持った団地住民個人が、地域住民のつながりを作ることや商店街振興を目的とし、旭区の補助を受け、2006 年にコミュニティカフェ「あんさんぶる」を開設した。
- ・その後、住民ボランティアや自治会、地域の介護施設などと活動団体を作り、地域課題解決のために活動を始め、2017 年に一般社団法人おもいやりネットワークを設立し、法人化している。

4. 特徴

- ・開設当初は個人で運営していたが、住民ボランティアや自治会、地域の介護施設、大学などと連携し、活動の幅を広げている。
- ・横浜市介護予防・生活支援総合事業のイベントをコミュニティカフェで定期的実施するなど、安心な地域コミュニティの形成に貢献している。

5. 組織体制



6. 取組内容

- ・①暮らしの保健室、②ケアーズカフェ、健康麻雀、フリーマーケット、ハイキング等、地域住民向けのイベントを、精力的に実施している。
- ・コミュニティカフェ内では、コーヒー等ドリンクの他に、ランチも提供している。
- ・コミュニティカフェの運営以外にも、地域での緩やかな見守りを目指したあいさつ運動や訪問型見守り活動を実施している。

①暮らしの保健室

- ・高齢者が健康や暮らしに関する情報交換をするためのイベントで、介護予防サポーターや元看護師、民生委員等に気軽に悩み事相談ができる。
- ・利用者自身がサービスを受けるだけでなく、自らが得意なことを皆に教えることが自己実現と皆のためになっているという「やりがい・生きがいづくり」となり、介護予防・認知症予防となることを目指している。

②ケアーズカフェ

- ・歌声サロンや折り紙教室、健康体操教室等のイベント
- ・健康な人も要支援・要介護の人も分け隔てなくイベントに参加し、趣味の充実や友達づくりを行うことで、豊かで安心な生活ができることを目指している。

【イベント風景】



(出典) あんさんぶる HP

【大学連携】

- ・横浜国立大学や東海大学と7年ほど前から連携しており、地域資源の掘り起しの調査等の取組を行ってきた。